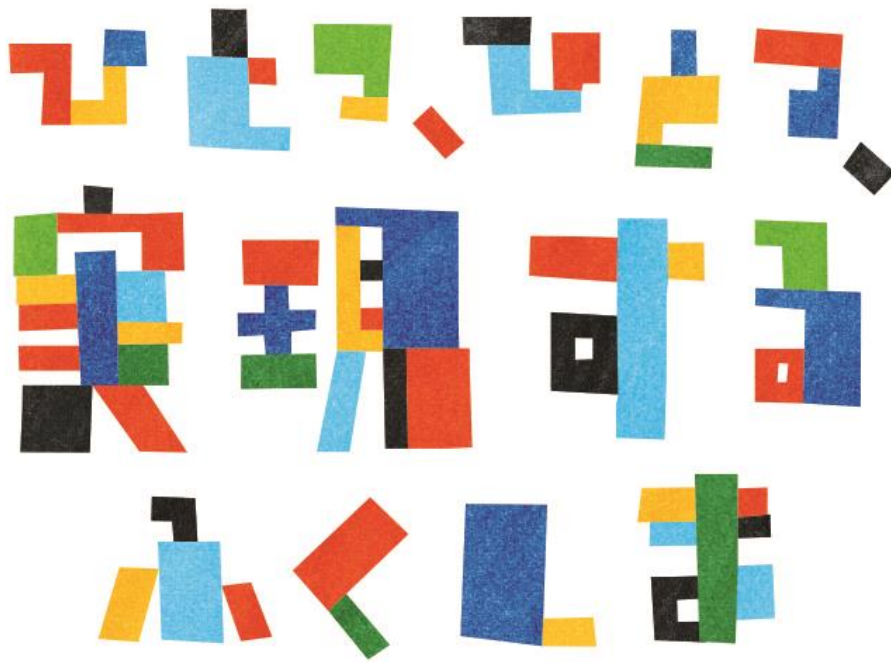


# 事業計画

令和5年度



福島県ハイテクプラザ

INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE FUKUSHIMA PREFECTURAL GOVERNMENT

# 福島県ハイテクプラザ事業計画

令和5年度

目次

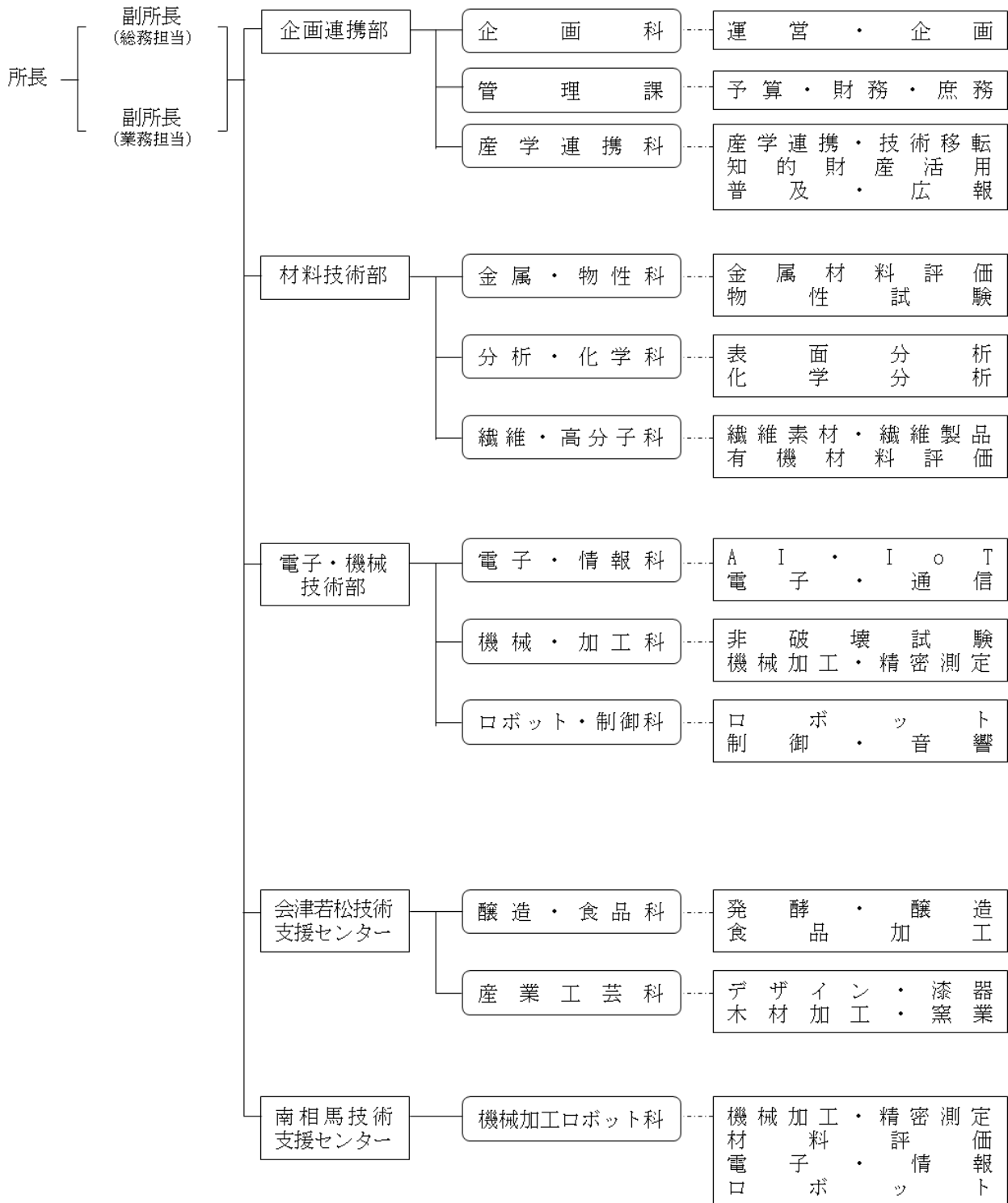
※ **重**は「県の重点プロジェクト」、**【新】**は「令和5年度新規事業」、**【一部新】**は「一部新規事業」

1	福島県ハイテクプラザ組織と事業方針	1
1-1	福島県ハイテクプラザ組織	1
1-2	福島県ハイテクプラザ中期ビジョン【要約】	2
1-2-1	基本方針	2
1-2-2	ハイテクプラザの果たす役割	2
1-2-3	五年後の目指す姿	2
1-2-4	基本活動	2
2	事業計画概要	3
2-1	研究開発	3
<b>重</b>	<b>【しごとづくりプロジェクト】関連事業（全1事業：2-1-1）</b>	
2-1-1	ものづくり企業のAI・IoT活用促進事業	3
	（1）人・ロボット協働による工場スマート化支援事業	
	①AIを活用した人とロボットの協働による工場のスマート化支援	
	（2）通信障害に強い無線通信ネットワーク開発事業	
	①通信障害に強い無線通信ネットワークの製造現場適用化研究	
<b>重</b>	<b>【産業推進・なりわい再生プロジェクト】関連事業（全3事業：2-1-2～2-1-4）</b>	
2-1-2	<b>【一部新】福島新エネ社会構想等推進技術開発事業</b>	3
	（1） <b>【一部新】ハイテクプラザ再エネ技術高度化事業</b>	
	①高圧水素タンクの充填時検査技術の開発	
	②風力発電ブレード部材の迅速耐久性評価と予知保全技術の開発	
	③ <b>【新】金属加工部材の水素・アンモニア利用環境適合性評価技術の確立</b>	
2-1-3	<b>【一部新】チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業</b>	4
	（1）ロボットビジョン技術活用促進事業	
	①自律走行外観検査ロボットの研究開発	
	②ロボットビジョン技術を搭載したドローン実演機の試作とロボットテストフィールドでのフィールド実証	
	（2） <b>【新】ロボット部材研究開発事業</b>	
	① <b>【新】バレル工具加工における切削力の調査</b>	
	② <b>【新】5軸マシニングセンタの工具精度測定法の確立と評価モデルの開発</b>	
2-1-4	<b>【新】福島県オリジナル清酒製造技術の開発</b>	4
	① <b>【新】多様な清酒開発に向けた製麹技術基盤の構築</b>	
<b>重</b>	<b>【避難地域等復興加速化プロジェクト】関連事業（全1事業：2-1-5）</b>	
2-1-5	<b>【一部新】廃炉関連産業集積基盤構築事業</b>	5
	（1） <b>【一部新】廃炉関連産業技術支援体制基盤構築事業</b>	
	① <b>【新】大型建造物の振動耐久性評価・設計改善技術の開発</b>	
	<b>【一般事業】</b>	
2-1-6	<b>【一部新】基盤技術開発支援事業</b>	6
	（1）福島・いわき地域支援プロジェクト	
	①ふくしま繊維関連技術開発促進プロジェクト	
	②化学プラント保全技術高度化プロジェクト	

	(2) 【一部新】個別研究課題	
	①漆塗料の高機能化とその活用に関する研究 等 計7課題	
2-1-7	【新】産業廃棄物減量化・再資源化技術支援事業……………	7
	①【新】廃棄太陽電池パネルからの省エネルギー銅配線回収・有害物質 除去手法の開発	
2-1-8	外部資金等活用……………	7
2-1-9	共同研究等……………	7
	①福島県産ナシの加工特性の解明	
<b>2-2</b>	<b>技術支援</b> ……………	<b>8</b>
	<b>①【しごとづくりプロジェクト】関連事業(全2事業:2-2-1~2-2-2)</b>	
2-2-1	開発型・提案型企業転換総合支援事業……………	8
	ひとつ、ひとつ、実現するものづくり企業支援事業	
2-2-2	ものづくり企業のAI・IoT活用促進事業(一部再掲)……………	8
	AI・IoT活用促進事業	
	<b>②【産業推進・なりわい再生プロジェクト】関連事業(全4事業:2-2-3~2-2-6)</b>	
2-2-3	航空宇宙産業集積推進事業……………	8
2-2-4	福島新エネ社会構想等推進技術開発事業(一部再掲)……………	8
	再生可能エネルギー関連技術指導事業	
2-2-5	チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業(一部再掲)……………	8
	福島県廃炉・災害対応ロボット研究会運営事業	
2-2-6	放射能測定事業……………	9
	<b>③【避難地域等復興加速化プロジェクト】関連事業(全1事業:2-2-7)</b>	
2-2-7	【一部新】廃炉関連産業集積基盤構築事業(一部再掲)……………	9
	【一部新】廃炉関連産業技術支援体制基盤構築事業	
	<b>【一般事業】</b>	
2-2-8	技術相談……………	10
2-2-9	依頼試験……………	10
2-2-10	施設・設備使用……………	10
2-2-11	技術移転……………	10
2-2-12	酵母開発・頒布……………	10
2-2-13	技術者研修・講習会等……………	10
2-2-14	講師派遣……………	10
2-2-15	機器整備……………	10
2-2-16	「つながる研究室」の活用……………	10
2-2-17	大学院との連携……………	10
2-2-18	放射光利活用推進事業……………	10
<b>2-3</b>	<b>人材育成</b> ……………	<b>11</b>
2-3-1	「そだてる研究室」事業……………	11
<b>2-4</b>	<b>情報の収集と発信</b> ……………	<b>11</b>
2-4-1	研究成果発表会……………	11
2-4-2	研究会活動……………	11
2-4-3	地域との交流……………	11
2-4-4	インターンシップ(研修生)の受入……………	11
2-4-5	市町村等との連携……………	11
2-4-6	広報活動……………	11
<b>3</b>	<b>福島県ハイテクプラザの位置(各技術支援センターを含む)</b> ……………	<b>12</b>

# 1 福島県ハイテクプラザ組織と事業方針

## 1-1 福島県ハイテクプラザ組織



※再生可能エネルギー・水素導入、廃炉、航空宇宙、医療機器、環境・リサイクル等の分野は、部門横断型の支援対応を実施する。

## 1-2 福島県ハイテクプラザ中期ビジョン【要約】

### 1-2-1 基本方針

ハイテクプラザの基本理念である「技術支援を使命とする開かれた産業支援機関」を実現すべく、「福島県ハイテクプラザ中期ビジョン」（計画期間：令和4年度～令和8年度）に基づき、当所の果たす役割を遂行する。そのため、五年後の目指す姿へ向かって機能強化を図り、4つの基本活動（「研究開発」、「技術支援」、「人材育成」、「情報の収集と発信」）に則った事業展開を行うことで、県内企業の技術支援をはじめとしたものづくり産業の技術的諸問題の解決に取り組む。

### 1-2-2 ハイテクプラザの果たす役割

「企業に対する技術支援、成長産業への先導」

「福島イノベーション・コースト構想や再生可能エネルギー・水素普及促進等、本県重点施策への貢献、地域に根ざした従来産業の振興」

「次代を担う技術者の育成」

「技術情報の収集と発信、企業と研究機関や支援機関との橋渡し」

### 1-2-3 五年後の目指す姿

- ① 多様な技術や急速な技術の進歩、変化にも素早く対応できる組織体制
- ② ロボット、再生可能エネルギー、水素等の成長産業においても県内企業を先導できる高い技術力
- ③ 県内ものづくり産業を支える企業技術者の育成拠点
- ④ 県内企業への技術情報の発信基地

### 1-2-4 基本活動

#### (1) 研究開発

県の重点施策に沿った分野、基盤技術分野及び地域特有の基幹産業分野の研究開発に取り組み、企業へ成果を移転する。

#### (2) 技術支援

支援メニューである技術相談、依頼試験・設備使用、企業訪問等の取り組みを強化し、これらの活動を通して企業の技術課題の解決を図る。

#### (3) 人材育成

職員の技術支援力を強化するために、組織的な人材育成に取り組む。

#### (4) 情報の収集と発信

最新の技術動向や鮮度の高い情報の収集に努めるとともに、それらの情報を企業目線でわかりやすく発信する。

中期ビジョンについては「福島県ハイテクプラザ中期ビジョン」（計画期間：令和4年度～令和8年度）を参照。（<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/hightech/plan.html>）

## 2 事業計画概要

### 2-1 研究開発

#### 【しごとづくりプロジェクト】関連事業（全1事業：2-1-1）

##### 2-1-1 ものづくり企業のAI・IoT活用促進事業

協働ロボットによるテストベッドや、特定小電力無線（LPWA）の利用などを通して、県内企業等のAI・IoT導入を支援する。

##### （1）人・ロボット協働による工場スマート化支援事業

研究課題	研究内容
① AIを活用した人とロボットの協働による工場のスマート化支援 (R3～R5)	協働ロボット導入に際して、事前にその効果を検証するテストベッドを整備するとともに、バリ取りのロボット化など県内企業が抱える課題について研究開発を行い、県内製造業のDX化を支援する。

##### （2）通信障害に強い無線通信ネットワーク開発事業

研究課題	研究内容
① 通信障害に強い無線通信ネットワークの製造現場適用化研究 (R4～R6)	長距離通信可能で電波遮蔽や干渉に強い920MHz特定小電力無線（LPWA）を用いて、製造現場で容易に利用できる無線通信ネットワークを構築する。また、これを実際の製造現場へ導入し、機能検証を行う。

#### 【産業推進・なりわい再生プロジェクト】関連事業

（全3事業：2-1-2～2-1-4）

##### 2-1-2 【一部新】福島新エネ社会構想等推進技術開発事業

福島新エネ社会構想の実現に向け、県内企業等の有する要素技術の高度化を支援する目的で、再生可能エネルギーに関する製品開発や技術の実用化に向けた研究開発を関係機関と連携して実施する。

##### （1）【一部新】ハイテクプラザ再エネ技術高度化事業

研究課題	研究内容
① 高圧水素タンクの充填時検査技術の開発 (R3～R5)	水素関連施設で使用する高圧水素タンクの欠陥の有無を診断する「充填時検査技術」を開発する。これにより、高圧水素タンクの点検間隔を最適化することで、水素ステーション等での運用コストの削減を目指す。
② 風力発電ブレード部材の迅速耐久性評価と予知保全技術の開発 (R4～R6)	風車ブレード部材の劣化メカニズムを解明し、耐久性を短時間で評価する試験方法を確立するとともに、非破壊検査データと紐づけた予知保全技術の開発を行い、県内メンテナンス産業の振興を図る。

<p>③ 【新】金属加工部材の水素・アンモニア利用環境適合性評価技術の確立 (R 5～R 7)</p>	<p>金属材料の過酷環境適合性を、実験室レベルで短時間に評価する技術を確立し、県内企業が開発する金属加工品の脱炭素関連製品への採用を後押しする。</p>
---	--

### 2-1-3 【一部新】チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業

震災からの産業復興のため、次世代の新たな産業分野であるロボット産業の集積を目指し、ハイテクプラザにおいてロボットの要素技術開発を実施する。

#### (1) ロボットビジョン技術活用促進事業

研究課題	研究内容
<p>① 自律走行外観検査ロボットの研究開発 (R 3～R 5)</p>	<p>スマート保守及びロボティクス活用によるプラント設計に対応するため、工業プラントの外観検査及び異音検知・方向呈示を可能とする自律走行外観検査ロボットの研究開発を行う。</p>
<p>② ロボットビジョン技術を搭載したドローン実演機の試作とロボットテストフィールドでのフィールド実証 (R 3～R 5)</p>	<p>ロボットビジョン技術を活用した実演機の試作とロボットテストフィールドでのフィールド実証を行うとともに、講習会により技術者育成を行い、中小企業のロボット産業分野への参入を支援する。</p>

#### (2) 【新】ロボット部材研究開発事業

研究課題	研究内容
<p>① 【新】バレル工具加工における切削力の調査 (R 5～R 6)</p>	<p>アルミニウム合金を対象にバレル工具を使用した加工実験を行い、加工時に発生する切削力を調査する。調査結果より、びびり振動等の問題が発生しにくい加工条件を探索する。</p>
<p>② 【新】5軸マシニングセンタの工作精度測定法の確立と評価モデルの開発 (R 5～R 7)</p>	<p>県内企業に導入の進む5軸マシニングセンタを対象とし、J I S規格の中で明示されていない工作精度試験の加工条件について検討する。また、従来の試験片では評価できない誤差要因を明らかにするため、新たな評価用モデルを開発する。</p>

### 2-1-4 【新】福島県オリジナル清酒製造技術の開発

県産清酒をブランド化し、維持・発展させるため、県産資源（県オリジナル清酒酵母、県オリジナル酒造好適米）を活用した県産清酒の製造技術を開発する。

研究課題	研究内容
<p>① 【新】多様な清酒開発に向けた製麹技術基盤の構築 (R 5～R 7)</p>	<p>県内酒造業者が目指す酒質に合わせて麴を造り分けたり、麴を用いて特徴的な香味を付与したりするためのノウハウを蓄積させた技術情報ツールを完成させ、県内酒造業者の多様な新製品開発を実現する。</p>

**【避難地域等復興加速化プロジェクト】関連事業（全1事業：2-1-5）**

**2-1-5 【一部新】廃炉関連産業集積基盤構築事業**

県内企業が、廃炉関連産業へ参入するための技術力を身に着けるため、ハイテクプラザで技術開発を行い企業への技術移転を図る。

**(1) 【一部新】廃炉関連産業技術支援体制基盤構築事業**

研究課題	研究内容
① <b>【新】</b> 大型構造物の振動耐久性評価・設計改善技術の開発  (R5～R7)	廃炉分野で求められる大型機械構造物を対象に、CAEによる設計と試作品の実験評価を組み合わせ、実大製品の振動特性・耐久性を正確に予測し、設計改善する技術を開発する。



## 【一般事業】

### 2-1-6 【一部新】基盤技術開発支援事業

震災からの復興やグローバル化などの課題に直面している地域産業の振興のため、地域特有のニーズに合わせたきめ細やかな支援を実施するとともに、先導的技術や独自技術の開発等に取り組み、その研究成果を技術移転する。

#### (1) 福島・いわき地域支援プロジェクト

プロジェクト	内容
① ふくしま繊維関連技術開発促進プロジェクト (R4～R6)	県内繊維産業が得意とする衣料品分野の開発力・販売力向上を図るとともに、環境や医療等の成長産業に素材としての繊維製品の提案を支援することにより、県内繊維産業の高付加価値型・開発型企業への転換を図る。
② 化学プラント保全技術高度化プロジェクト (R4～R6)	いわき地域に集積する化学プラントの保守・修繕の需要増に地元企業が対応できるよう、溶接技術や評価技術等の技術力向上を図る人材育成や企業間ネットワークを構築する。

#### (2) 【一部新】個別研究課題

研究課題	研究内容
① 漆塗料の高機能化とその活用に関する研究 (R3～R5)	漆塗料に対する食洗機耐久性評価や水・金属イオン添加による機能性評価を行うことで、現代の加飾技術への適用や、これまでの製造工程を大きく変えることなく、会津の伝統技法を活用した食洗機対応漆器を提案する。
② 樹脂含浸と熱圧成形による木材の高耐久化 (R4～R5)	社会背景から、様々な工業製品の素材を再生可能な資源へ代替することが求められている。再生可能な資源である木材を、樹脂とともに熱圧成形し、高い耐久性を見込める複合材料を製作する。また、製品への適用を想定し、素材の性能値を明らかにする。
③ 【新】果樹剪定枝染の機械染色条件の確立 (R5～R6)	果樹剪定枝等から染色液を効率良く製造する技術と、ハイテクプラザの設備（繊維熱処理・染色加工装置）を用いて染色加工条件を確立する。確立した技術を繊維関連企業の生産現場に移転することで、剪定枝染色製品の開発促進に繋げる。
④ 【新】弾性編地の開発と評価に関する研究 (R5)	芯鞘構造の特殊加工糸（弾性糸）で、単層及び多層構造を持つ弾性編地を編成する。編成した編地の伸度、編目数等を解析し編成条件を確立することで、様々な用途（医療、スポーツ、産業資材等）に応じた弾性編地の試作開発に繋げる。

⑤ 【新】 県産醤油の香気成分の調査 (R 5)	県産醤油の香気成分を中心とした品質を調査することにより、特徴を把握し、品質改善や特徴付けによる差別化に向けた基礎的知見を得る。
⑥ 【新】 「青光塗」のための新規色漆の開発 (R 5～R 7)	会津漆器には、石黄（黄色）と藍（青色）を漆に混合し深緑色の色漆とし塗装した「青光塗」という技法があったが、現在は行われていない。この青光塗のための漆と顔料等の選定・配合や硬化条件を検証しつつ、黄色の色漆が硬化しなくなる原因を調査し硬化条件の検証を行う。これによって、青光塗の復活を目指すとともに新たな商品の提案につなげ、更に、青光塗をより安定して生産できるようにすることを目的とする。
⑦ 【新】 切削加工品の代替としてのWAAM方式金属積層造形品の可能性評価 (R 5～R 6)	WAAM方式金属積層造形の特徴である既存部品への形状付加及び異種金属接合を用い、切削加工品の代替として利用可能な積層造形品、特に異種金属接合による高付加価値を有する積層造形品の作製技術の構築を行う。

### 2-1-7 【新】 産業廃棄物減量化・再資源化技術支援事業

産業廃棄物対策をはじめとした循環型社会の構築のため、産業廃棄物排出事業者から技術面からの支援を行うことにより、産業廃棄物減量化・再資源化を図る。

研究課題	研究内容
① 【新】 廃棄太陽電池パネルからの省エネルギー銅配線回収・有害物質除去手法の開発 (R 5)	埋め立て処分時に有害金属が溶出しないよう、廃棄太陽電池パネルから銅配線及び付随するはんだを回収する技術を開発する。具体的にはパネル裏面より熱と振動を加えた刃物により銅配線周辺のみを除去する手法について検討を行う。

### 2-1-8 外部資金等活用

企業における事業化を促進するため、企業等からの研究委託や競争的資金制度などの外部資金等を活用してハイテクプラザで各種研究を実施し、それにより蓄積された研究成果の技術移転を図る。

### 2-1-9 共同研究等

ハイテクプラザが大学等研究機関や県内企業等と共同で、産業振興に寄与する研究開発を行い、複雑化・高度化し、多分野にわたる新技術の開発や技術的課題の解決を図ることで、製品化・技術の導入につなげる。

研究課題	研究内容
① 福島県産ナシの加工特性の解明 (R 4～R 5)	福島県農業総合センターとの共同研究で、県産ナシの原料果の特徴や果肉及び果汁の加工特性を明らかにし、ナシ加工品開発の一助となる基礎的知見の取得を目標としている。ハイテクプラザでは原料果及び果汁の加工特性を調査する。

## 2-2 技術支援

### 【しごとづくりプロジェクト】関連事業（全2事業：2-2-1～2-2-2）

#### 2-2-1 開発型・提案型企業転換総合支援事業

##### ひとつ、ひとつ、実現するものづくり企業支援事業

開発型・提案型企業転換総合支援事業の一環として、県内企業等の技術課題解決及び製品開発について、技術指導等の支援を行うことで企業競争力の強化を図る。

##### 開発型企業発掘事業

企業訪問等により、開発意欲のある企業を発掘するとともに、技術課題の抽出及び解決を図る。

目標件数	訪問企業数250社以上
------	-------------

##### 開発支援事業

企業が直面している技術的課題（テーマ）をハイテクプラザが代わりに解決し、その成果を技術移転することで企業の製品開発を支援する。

目標件数	テーマ数17件以上
------	-----------

##### 現場支援事業

企業の製造現場に職員・外部講師を派遣または、ハイテクプラザに企業の従業員を受入れ、企業の抱える課題解決のため、人材育成等を支援する。

目標件数	支援件数30件以上
------	-----------

#### 2-2-2 ものづくり企業のAI・IoT活用促進事業（一部再掲）

##### AI・IoT活用促進事業

ハイテクプラザが運営するふくしまAI・IoT技術研究会を通じ、企業へのAI及びIoTに対する技術課題の解決、人材の育成、普及啓発活動を行う。

### 【産業推進・なりわい再生プロジェクト】関連事業

（全4事業：2-2-3～2-2-6）

#### 2-2-3 航空宇宙産業集積推進事業

航空宇宙産業に関連した情報の提供、専門の講師による講演会の開催、関連団体と会員企業間の情報交流等を実施する。また、ハイテクプラザに導入した非破壊検査機器や5軸加工機等を使用した研修を実施し、県内企業等の航空宇宙産業への参入を支援する。

#### 2-2-4 【一部新】福島新エネ社会構想等推進技術開発事業（一部再掲）

##### 再生可能エネルギー関連技術指導事業

「福島新エネ社会構想」を踏まえ、「再エネの導入拡大」「水素社会実現のモデル構築」の実現に向け、企業の技術力を高め、再生可能エネルギー関連産業を育成・支援する。

#### 2-2-5 【一部新】チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業

（一部再掲）

##### 福島県廃炉・災害対応ロボット研究会運営事業

原子力発電所の廃炉への県内企業等の参入を支援・促進するとともに、蓄積した技術・製品を災害対応分野に展開するため「福島県廃炉・災害対応ロボット研究会」を設置し、展示実演会や技術セミナー等を通じて、関連機関との情報交換やネットワーク構築に取り組む。

## 2-2-6 放射能測定事業

風評被害への対応として、県内企業等を対象に工業製品の放射線量測定と加工食品の放射能測定を行い、検査に伴う事業者の負担軽減、検査の迅速化及び検査頻度の向上を図る。

### 【避難地域等復興加速化プロジェクト】関連事業（全1事業：2-2-7）

## 2-2-7 【一部新】廃炉関連産業集積基盤構築事業（一部再掲）

### 【一部新】廃炉関連産業技術支援体制基盤構築事業

県内企業が廃炉関連産業の参入に必要となる技術力の向上や人材の育成を図るため、巡回訪問やセミナー開催、研究開発等の技術支援に取り組む。

## 【一般事業】

### 2-2-8 技術相談

県内企業等が抱える課題等に対して、個別面談、電話、メール、ウェブ相談窓口及びインターネットを利用したオンラインでの面談を活用して、技術相談に対応する。

### 2-2-9 依頼試験

県内企業等の要望に応じ、各種の試験・分析を行い、迅速かつ正確な試験結果を提供する。

### 2-2-10 施設・設備使用

ハイテクプラザが保有する先端機器をはじめとした装置・機器類を県内企業等に対して開放する。

### 2-2-11 技術移転

ハイテクプラザが保有する技術や研究開発の成果を、学会誌等への論文投稿や各種展示会への出展により広く公開するとともに、企業訪問や各種広報活動を通じて県内企業等に周知・提供し、新たな製品開発や技術課題の解決に繋げる。

### 2-2-12 酵母開発・頒布

県内企業等が使用する酵母について、ハイテクプラザ会津若松技術支援センターが研究・開発を行い、醸造に適した活性を持つ酵母を頒布する。

### 2-2-13 技術者研修・講習会等

(公財) 福島県産業振興センター等と連携し、県内企業等を対象として、先端技術の普及をはじめとした研修・講習会を企画・開催する。

### 2-2-14 講師派遣

県内市町村の商工団体、産業支援機関等で実施している技塾等の技術研修に、講師として派遣し講義・実習等の指導を行う。

### 2-2-15 機器整備

企業の新産業分野への参入促進に必要な先端機器や製品開発段階で必要となる設備を計画的に導入・更新・整備することで、技術支援、依頼試験、施設・設備等の開放及び試験研究等の機能強化を図る。

### 2-2-16 「つながる研究室」の活用

ウェブ会議システム「つながる研究室」を活用したジャストインタイムの技術相談や試験・研究支援、オンデマンドのウェブセミナーにより、企業支援におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する。

### 2-2-17 大学院との連携

福島大学等の県内大学において、客員教授等として大学院生の教育研究指導にあたる。

### 2-2-18 放射光利活用推進事業

県内企業の放射光施設利活用を促進するため、国立大学法人福島大学の放射光利用プロジェクト研究所に参画し、県内企業の利用に向けた連携・支援を行う。また、ハイテクプラザ職員の放射光施設利活用スキルの向上と、他公設試や大学等とのネットワーク形成を目的に、技術課題解決の事例創出と共有を図る。

## **2-3 人材育成**

### **2-3-1 「そだてる研究室」事業**

技術支援機能の維持・強化を図るため、職員の技術力や指導力の向上に取り組む。

#### **(1) 大学院博士課程派遣**

先導的な研究や高度な技術指導に対応できる専門性の高い職員を育成するため、大学院博士課程に職員を派遣する。

#### **(2) 技術士等資格取得**

高い技術水準を有する職員を育成するため、技術士資格の取得を推進するとともに、法令上必要とされる必置資格保有者の確保を行う。

#### **(3) 探究型研究開発**

研究経験の少ない若手職員の研究能力向上を図るため、比較的短期間で小規模に取り組めるテーマを対象に、提案から実施、報告の一連の流れに若手職員が主体的に取り組む。

#### **(4) 企業等実地研修**

現場課題に即した支援に必要となる企業視点を養うため、県内工場等の生産現場や開発現場に職員を派遣し、視察・体験を通して現場への理解を深める。

## **2-4 情報の収集と発信**

### **2-4-1 研究成果発表会**

令和4年度にハイテクプラザが取り組んだ研究や指導事例について、研究成果発表会を開催しその成果を広く県内企業等に普及・周知する。

### **2-4-2 研究会活動**

ものづくり基盤技術のうち、技術の高度化が著しい分野を中心として研究会を開催し、新技術情報収集や技術勉強会、課題討論等を行う。

### **2-4-3 地域との交流**

次世代のものづくりを担う若年世代を対象に、ハイテクプラザの役割や機能について理解を深めてもらうことを目的として一般公開「あつまれっ！ハイテクプラザ」や体験教室「見る！聞く！学ぶ！ハイテクプラザ」を開催する。一般公開では、施設の見学や子どもたちがものづくりや科学を体験できるワークショップを提供する。また、体験教室では、県内の高等学校等の生徒に対して、保有技術や設備を活用したものづくり現場の実際を学ぶ機会を提供する。

### **2-4-4 インターンシップ（研修生）の受入**

県が実施する大学等の学生向けインターンシップのほか、県内の高等学校等の生徒に対して、ハイテクプラザの業務に係る研修や就業体験を行う。

### **2-4-5 市町村等との連携**

技術的課題解決を必要とする県内各市町村及び商工団体等を訪問し、専門的なアドバイスをを行う。また、ハイテクプラザで実施する事業の広報と各地域の情報発信を行う。

### **2-4-6 広報活動**

県が主催する展示会や市町村等が開催する産業振興イベント等への積極的な出展のほか、各種団体の所内見学への対応及びホームページをはじめとした様々な広報媒体の活用等により、ハイテクプラザの役割・業務内容や研究成果等を企業目線で広くわかりやすく紹介することで、ハイテクプラザの認知度の更なる向上及び利用企業数の拡大を図る。

### 3 福島県ハイテクプラザの位置（各技術支援センターを含む）

【福島県ハイテクプラザ】



【交通案内】

- ・郡山駅からタクシー利用  
（約12km）約25分
  - ・喜久田駅からタクシー利用  
（約5km）約9分
  - ・バス利用  
郡山駅西口より  
「西部工業団地行」乗車  
「ハイテクプラザ」下車（約40分）  
徒歩1分
  - ・東北自動車道  
郡山ICより約7km（約10分）
- 【住所】 郡山市待池台1丁目12番地

【南相馬技術支援センター】



【交通案内】

- ・原ノ町駅からタクシー利用  
（約4km）約10分
  - ・常磐自動車道  
南相馬ICより約10km（約20分）
- 【住所】 南相馬市原町区萱浜字新赤沼83番  
（福島ロボットテストフィールド内）

【会津若松技術支援センター】



【交通案内】

- ・会津若松駅からタクシー利用  
（約2km）約5分
  - ・磐越自動車道  
会津若松ICより約3km（約6分）
- 【住所】 会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原88番1

# 福島県ハイテクプラザ事業計画

令和5年度（2023年度）

令和5年3月発行

URL <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/hightech/>

E-Mail [hightech-renkei@pref.fukushima.lg.jp](mailto:hightech-renkei@pref.fukushima.lg.jp)

発行

## 福島県ハイテクプラザ

〒963-0297 郡山市待池台1丁目12番地

代	表	024-959-1741	
企	画	024-959-1736	
管	理	024-954-4968	
産	学	024-959-1741	
金	属・物性	024-959-1737	
分	析・化学	024-959-1738	
織	維・高分子	024-959-1739	
電	子・情報	024-954-4961	
機	械・加工	024-954-4962	
ロ	ボット・制御	024-954-4963	
F	A	X	024-959-1761

## 福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター

〒965-0006 会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原88番1

代	表	0242-39-2100	
醸	造・食品	0242-39-2977	
産	業	0242-39-2978	
F	A	X	0242-39-0335

## 福島県ハイテクプラザ南相馬技術支援センター

〒975-0036 南相馬市原町区萱浜字新赤沼83番

代	表	0244-25-3060	
機	械加工ロボット	0244-25-3060	
F	A	X	0244-25-3061

編集

福島県ハイテクプラザ 企画科